

みんなでより良い学校に

6月23日に児童総会がありました。児童総会は、学期に1回、全校みんながより良い学校にするために話し合う会です。今回は「サンサンの実」についてです。「サンサンの実」は、友だちの良いところを書く実のことで、それを児童会が児童朝会で発表してから、掲示板に貼ります。しかし最近はその数が減ってきているので、どうしたら増えるかを話し合いました。私たちが思っていたよりも、たくさん意見が出ました。児童総会が初めての1年生も手を挙げていて、真剣に考えてくれているんだと思ううれしかったです。「みんなの良いところを見つけるために、みんなとたくさん遊んだらよい」という素敵な意見も出ました。話し合いの結果、1週間に1回は良い行いを見つけ「サンサンの実」に書くことに決まりました。みんなで決めたことなので、私も守れるようにしたいです。これからも「より良い学校」を目指して頑張りたいです。

(南郷小学校 5年 大島 あかり)



グリーンレモンハウス見学

7月2日に浮鞭でグリーンレモンを栽培している金子俊博さんのビニールハウスに、グリーンレモンをPRするための情報を集めるために5・6年生7名で訪ねました。

見学をしていると、ハウス内には何百個ものグリーンレモンがなっていて、1人で管理しているすごいなと思いました。葉っぱには、アゲハ蝶の幼虫や、ハモグリガ、スリップスなどがいて、苦労や対策をしていると知り、大変そうだなと思いました。ぼくは、金子さんが苦労して作ったグリーンレモンを、地域の人々に知ってほしいなと思いました。それに、金子さんがくれたグリーンレモンをジュースにしてみました。おいしかったので、どんどん広めていきたいなと思いました。



(田ノ口小学校 6年 松本 悠生)

職場体験を通して学んだこと

僕は、職場体験学習で佐賀の養鶏場に行きました。行っていたことは、ニワトリの健康管理や、弱っていないかどうかの確認、えさと水の高さの調整、空調と気温の管理等です。仕事をしてみて、大変だと感じるのが沢山ありました。例えば、ふんの臭いや死んだにわたりの処理をすること、風がなくて鶏舎の中が暑いこと等です。たったの2日間だけでしたが、これが続いている生産者の方は本当にすごいと思いました。

生産者の苦労があつて食べ物を食べられたり、何かを作る人がいて僕たちの生活が豊かになったりしていると気づくことができ、これまで当たり前前に食べていた毎日の食事に対する意識が大きく変わったように感じます。

これからの生活の中で、「食べる」ときは動物の命と生産者に「いただきます」「ごちそうさま」を言いたいです。

2日間という短い間でしたが、将来の進路を考えるにあたって、とても貴重な体験をさせていただきました。



(大方中学校 3年 小室 拓海)